

私のまちですすむ

大軍拡

福岡

福岡県築上町にある築城基地は、沖縄の負担軽減というところで在日米軍再編が進められていました。2022年、岸田内閣での「安保3文書」で基地強化が本格化し、11月から日米共同総合演習(キーンソード23)が行われています。23年に「米

軍用施設の整備」は終了し、自衛隊基地である築城基地は米軍がいつでも自由に使える米軍基地化する状況になるといわれています。24年4月には北九州空港と博多港が特定利用空港・港湾に指定されました。そこでは戦争にそなえ、大規模な整備や訓練をおこないます。新婦人・市民団体・国会議員などが市長と九州防衛局に抗議しましたが、どちらも「国の専管事項なのでコメントできない」と政府いいなりの対応で



2031年完成を目指し延長工事に着手した築城基地(基地HPから)

敷地内で実施するなど、自衛隊の入り込みが多くなり、各支部では中止や変更の要請もしました。県本部では25年9月の仲間づくり大交流会で「戦争づくりがすすむ福岡県の今」と題して、築城基地のほかオ

<月1回>

<月1回>

知っておきたい

食事情

政府は特別国会に「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律」(食糧法)の見直し法案を提出しようとしています。これは米の需給と価格への国の管理責任を、さらに放棄するものです。

見直し法案は、①「需要に応じた生産」を法定化し、米の価格と需給の安定に対する国の責任と役割をさらに後退させ、農家に自己責任を押しつける、②国による備蓄を放棄して民間業者の在庫に委ねる——ことなどをねらっており、批判の声が米関連業界からも上がっています。

2023年産の米不足から始まった価格高騰で政府は60万トンの政府備蓄米を放出しました。また、輸入米が20万ト近くにまで急増して供給量が増えた結果、25年産米の市場は供給過剰になり、業者の取引価格が下落しています。そうした現状から、26年産米の作付けを前に、米農家は困惑しています。

昨年、全国の約半数以上の都道府県に広がった「令和の百姓一揆」。その要求の一番の柱は「農家に所得

日本農業を破滅に導く「食糧法」改悪を止めよう

補償を」です。しかし、高市・自民党政権は、「農業者の所得を補償する施策については、『法制化』は考えていない」と否定しています。これでは米価は安定せず、食料自給率もさらに下がってしまいます。

米を作り続けるには、農家に対する所得補償は不可欠です。同時に、生産費の不足を補う所得補償があっても、60キロを1万円で買ったたかかれたら農業は続けられなくなります。従って、米価が2万円を割った場合など、差額は国が補てんする価格保障の両方が必要です。これでこそ生産者が作り続けることができ、消費者も買い続けられる価格を維持することができます。

日本の米生産を持続可能なものにするためには、備蓄制度を活用した政府による需給コントロールの実施が必要です。食糧法は「改悪」でなく、政府の責任を位置づけて機能させることが求められています。(農民連事務局長 勝又真史)



昨年3月に都内で行われた「令和の百姓一揆」

ホットライン

岐阜

マージャン小組 しんぶんタイムも

【関支部 桂川裕見子】中班的のマージャン小組は毎週楽しくやっています。毎月第2週は「しんぶんタイム」をしようと決め

て続けています。選挙の後には「若い人が高市さんを支持したのはなんでだろうね?」などの話が出ました。マージャン台も余裕があるので仲間を増やしていきたいね、と話しています。



まだまだ増やせるね▲岐阜

広島

お好み焼き体験 歴史も学んだ

【五日市支部 磯野真弓】広島人のソウルフードはお好み焼き。ソース会社の本格鉄板でのお好み焼き体験に、ゲストを含め18人が参加しました。鉄板で焼くお好み焼きは、おいしさも



広島人のソウルフード▲広島

格別です。おこのミュージアムで、広島のお好み焼きは、「一銭洋食」と言われて人びとの飢えをしのぐものとして始まり、さらに戦後の焼け野原からの復興とともに進化、発展してきたことを学びました。

沖縄

次世代 歓迎&新年会

【県本部 東江真澄】1月11日、「おきなわ次世代」では歓迎&新年会を開き、会員9人、新会員1人、ゲスト1人、子ども11人の計22人が参加し、おいしい食事を囲み、和やかに交流を深

熊本 サークル 発表・交流会

【熊本支部 森川亜弥】1月10



班会のように紹介▲熊本

日、サークル発表・交流会を開きました。入会したばかりの方が楽しく踊られていたのが印象的でした。新しく始まったオカリナサークル、いきいきサロン、おしゃべり会などが紹介され、参加してみたいと思いました。

絵手紙や手芸作品を見たり、平和の展示の前でお話したり、和気あいあいとしたあたたかい雰囲気でした。 ○×クイズで盛り上がり、うたう会でみんなで歌い、楽しい時間が過ぎました。今年も元気で楽しい新婦人!



子どもたちと一緒に▲沖縄